



21日(土) みはら雑学王 (改訂版) を発売

市と商工会議所など11の団体で構成する、ふるさと情報発信事業推進協議会では、昨年販売した「みはら雑学王」の改訂版を作成しました。これまでと同様に、A5判の272ページで一冊1,500円(消費税込み)です。
 今月21日(土)から、市内の書店やうきしろロビー(JR三原駅構内)、商工会議所、臨空商工会で購入できます。



▲昨年販売した「みはら雑学王」



タコのまち 三原



瀬戸内の豊かな恵み 県内有数のタコの産地「三原」
 三原の代表的な食文化であるタコ。全盛期には毎日タコが市場で取引される時代もあったと、数百年の歴史を持つ。その歴史や食文化について、秋葉野で引継ぎがちな高橋を大塚に訪ね、自然との共存が語られています。



なぜタコのまちなのか？
 タコは、呼吸をするだけで、水を吸い上げることで、呼吸を維持している。そのため、水が豊富な環境に生息している。三原は、瀬戸内海に面しており、豊富な水資源を有している。そのため、タコが豊富に獲れる。高橋は、タコ漁の歴史を語り、タコと人間の関係について話している。

三原のタコはひと味ちがう
 三原のタコは、他の地域と比べて、タコが大きい。これは、瀬戸内海に面しているため、豊富な水資源を有している。そのため、タコが豊富に獲れる。高橋は、タコ漁の歴史を語り、タコと人間の関係について話している。

この一冊に、私たちのまち三原の歴史や自然、文化、観光、グルメなど、さまざまな情報がぎっしり詰まっています。ぜひ利用してください。

第2回 三原やっさ検定

みはら雑学王をテキストとした検定試験を行います。

とき 3月18日(日)14時～

ところ 第二中学校

受付期間 1月23日(月)～2月27日(月)

受験料 大人2,000円、高校生以下1,000円

実施要項・申込書配布場所 観光文化課、各支所、商工会議所、うきしろロビーほか

問い合わせ先 観光文化課(☎0848・67・6014)

9月完成へ 学校給食共同調理場

今年9月の完成をめざして、学校給食共同調理場の建設を進めています。

同施設は、松浜地区(糸崎九丁目)の埋め立て地に建設中で、2,836・24平方メートルの2階建てです。市内では、現在稼働している、本郷と久井の共同調理場に続く3カ所目となります。完成すれば、小学校11校と中学校7校分の一日最大5,500食を賄うこと

が可能となります。新たな調理場では、安全衛生管理の徹底を最優先とし、食物アレルギーに対応した調理スペースを設けます。また、食育の観点から、調理作業のようすを2階からガラス越しに見学できるコーナーも設ける予定です。
 今後も、安全で安心な給食が提供できるよう取り組みます。



▲学校給食共同調理場の完成予想図

15日(日)まで 市出身の洋画家 池田快造展を開催しています

市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)で、郷土ゆかりの作家 池田快造展を開催しています。生誕100周年を記念して開催して

池田快造

明治44年、三原市西町に生まれ、県立府中中学校から東京美術学校(現東京藝術大学)へ進学し、藤島武二教室で学びました。在学中から展覧会で数々の賞を受賞するなど、高い評価を得て、将来を期待されましたが、昭和19年、33歳で亡くなりました。

戦争という不幸な時代を乗り越え、生涯にわたり全情熱を絵画に注ぎ、多くの力作を残した池田快造の作品を、ぜひ鑑賞してください。



▲油彩画や市内で初公開となるデッサンなど、約60点を展示